

政治資金残りあと

146,875円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	178,399円
印刷代（ビラ印刷代）	22,110円
交通費（駐車場、高速代）	2,250円
雑費（CD-R代）	2,341円
通信費（携帯電話代）	4,823円
勉強会会場費差額	0円

市政を考える

月刊武松

発行日
99/9/6

第4号

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

行政視察！？

小田原市議会では、行政視察が実施されています。

視察は、各常任委員会（福祉文教、総務民生、都市建設、経済厚生）、議会運営委員会、議会だより編集委員会、各会派、その他に海外視察があります。

各議員とも、年に2回から3回視察に行きます。

視察の目的は、各委員会の視察の場合は、視察地の市町村で、相当する委員会の運営がどうなっているか、特徴や問題点を議会担当者から説明を受けます。

その後は、視察地の特徴的な施設や史跡を視察します。

私の属する議会だより編集委員会では、7月27日、28日と群馬県前橋市と高崎市を視察してきました。高崎市の議会報は、一般質問欄が、個人名で質問と答弁が掲載されており、誰がどんな質問をしたかが

分かるようになっていました。個人名で掲載し始めた当初は、一般質問をする議員が急に増えたそうです。当面の問題点は、その個人欄に顔写真を掲載するかとどうかだそうです。

また、神奈川県議会報の一般質問欄は、既に質問者の顔写真と質問、答弁が記載されています。

小田原市議会だよりもどの議員が何を質問したかわかる様にしていかなければならないと考えています。

海外視察については、期を重ねないで行くことができないと言う暗黙の了解があるようです。私個人としては、一期目でも半額出してもかまわないので視察に行きたいのですが、合意を得るまで来ていません。

参考までに視察関係の今年度予算額は、以下のとおりです。

行政視察等旅費	821.0万円
海外調査研究費	200.4万円
合計	1021.4万円

自動車保有台数！？ 19年で2.56倍！

中心街の空洞化に関して、市民の移動手段が電車バスから、マイカーに変わって来ていることが、その最大要因と考えられます。

そこで、実際、小田原市内にどの位の車があるのか、人口の推移と比較しました。

'79年から、'98年の19年間で保有台数合計は、3万4883台から8万9298台と2.56倍になっています。

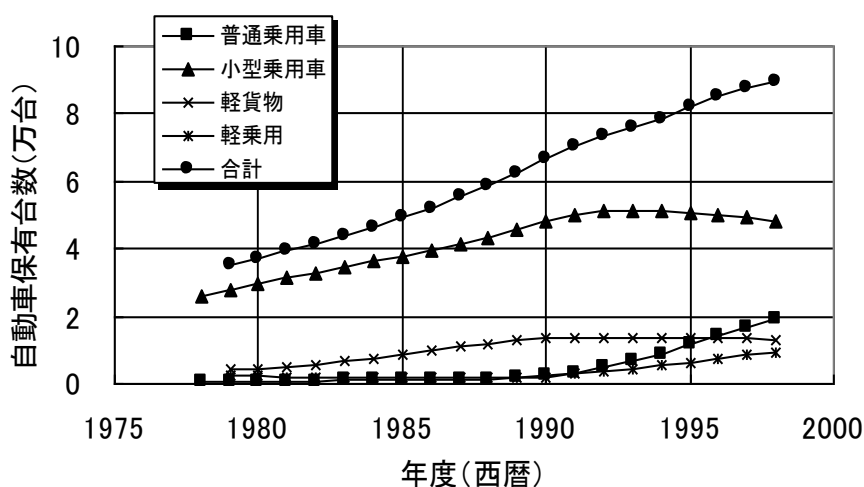
人口の増加は、'79年の17万7047人から、'98年が20万329人と1.13倍にしかありません。

増加率で比較すると、自動車の156%増に対し、13%増ですから、なんと12倍の開きがあります。

このデータはあくまでも、保有台数ですから、新車の販売台数と異なります。そのため景気動向に左右されずコンスタントに保有台数が伸びています。

マイカーでの移動が増えると、点から点の移動と

小田原市内自動車保有台数の推移



なって大きな駐車場のある店舗だけが売れ、周辺部がその恩恵を受けないということが起こります。

従来は、その大型店の集客力によって周辺部も潤いましたが、車社会が進むと当てはまらなくなってきました。

The Voice Special 調査報告特集

秦野市のゴミ監視員を調べてみたら？

第2号で鴨宮南口のごみの件について、多くのご意見ありがとうございました。その中で秦野市事例を調査しました。（議会事務局の調査係を通じて、議長名で調査依頼したものです。）

秦野市では、駅前に環境美化指導員（ポイ捨ての監視員）を置いています。目的は条例の周知と言うことですが、実際に吸い殻やゴミは指導員を置く前より減少しています。指導員を置いた後は、ポケット灰皿を持つ人が増えたそうです。（タバコに火を着けた時点で指導員がきて、「吸い殻捨てないで下さいね！」と言われるそうです。）小田原市では、清掃員を雇っていますが、秦野市では、指導員で同様の結果が得られています。（小田原の検挙者は0名、秦野は指導をしたのは7000名/年）

実際ピラの配布後、駅のロータリーで一番数の多いゴミは、吸い殻です。鴨宮駅南口の場合で40個は拾えます。ポイ捨て禁止区域に指定されている小田原駅東口ロータリーの北半分でさえ、30分ゴミを拾っただけで毎朝401のゴミ袋が一杯になるそうです。

ポイ捨て禁止のステッカーが貼ってあってもほとんどPR効果が無いようです。改めて条例の周知方法を考え直さなければなりません。

家電製品のリサイクルは？

小田原の粗大ゴミ収集でテレビとかその他の家電製品は環境事業センターに運ばれてくると思います。そういう物の中でまだ使える物もあると思うのですが、収集したものの処理について教えてください。

酒匂在住 22歳 男性

家電製品のリサイクルは、小田原市では基本的に実施していません。家電リサイクル法が平成13年4月から施行されますが、条文が最終決定していないことや、責任範囲がメーカー、利用者、行政なのか明確になっていないこと等で実施が遅れている現状です。

小田原市のフロンガス回収の手法は？

小田原市がフロン回収業務措置として、具体的にどのような手法をとっているのか？ それにかかる費用はどの程度なのか？ 年間何台程度が、フロン回収対象として処置されたのか？ 等々を知りたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

栢山在住 ?歳 男性

冷蔵庫やエアコンは、フロンガスを抜いた後処理されます。抜かれたフロンガスは、ボンベにて保管しある程度数量が集まったら国の処理施設に直送しています。小田原市の平成10年度の処理台数は、冷蔵庫 1854台、エアコン 441台で、260kgのフロンガスを回収しており、回収手数料は、29万6010円かかっています。

保健センター・いそしぎの駐車場の利用方法について

保健センターの周りに駐車場があるが、駐車場近隣の人が私用で利用していたり、排気音の大きな車が深夜や早朝に出入りして迷惑している。有料化や無料開放も含め、行政で管理できないものか？

鴨宮駅にて 50代 男性

保健センター周辺の駐車場は、現在、昼夜を問わず入り口の施錠は行っていません。夜間の警備員は2名ですので警備員が人為的に排除することは困難です。施錠をすることは簡単ですが、良い解決方法ではありません。まず自治会で議題にして頂き、当面は看板等で注意を促す程度しかできないようです。

武松政策研究会を開催します。

名前は堅苦しいですが、中身は柔らかいです。

日時：9月18日（土） 18:00～20:00

場所：小田原市民会館 6F 第3多目的ルーム

テーマ：「*バランスシート」 *テーマが変更になる場合があります。

参加費：1名につき100円

出欠席の連絡は、不要です。当日、直接会場に来てください。

子連れでもかまいません。特に女性の参加を歓迎します。

